2019.9.28 Vol.1111

外房長生夷隅版　配布地域／茂原市・長生郡・いすみ市・夷隅郡・勝浦市【60,000部】

企画・制作／シティライフ編集室 〒290-0056 市原市五井4874-1 TEL.0436(21)9311 FAX.0436(21)9142

地域で守ろう子どもの安全　次回発行日▶10月5日(土) 中央①

シティライフが提供する動画をWEBで見れます!　動画あり　左記のアイコンがある記事はシティライフWEBより関連動画がご覧頂けます!

未来に残したい、ウミガメの来る砂浜

一宮ウミガメを見守る会

2020年東京オリンピックでサーフィンの会場となる、長生郡一宮町の釣ヶ崎海岸。この一宮の砂浜には、絶滅危惧種のアカウミガメが産卵にやって来る。日本の砂浜海岸は北太平洋で唯一のアカウミガメの産卵場所で、一宮町を含む九十九里浜はその北限だ。一宮町在住で元東邦大学教授の秋山章男さんが1994年から始めたウミガメの上陸・産卵の調査を引き継ぎ、『一宮ウミガメを見守る会』が2012年に発足。調査及び環境保全に関する啓発活動に取り組んでいる。

ウミガメの足跡探しツアー!

以前の発掘調査

アカウミガメは毎年5月～8月の日没から夜明けまでの暗い間に上陸し、卵を産む。会ではこの期間、毎朝欠かさず足跡調査を行っている。ウミガメの上陸した足跡を発見したら写真を撮り、日付・時間・場所・後足跡幅・足跡の軌跡・産卵の有無を記録。産卵が確認されたら、その回りに棒を立てひもで囲う。孵化は、産卵から約2カ月後。すべての子ガメが脱出して10日以上経ってから、今度は巣の中を調べる。アカウミガメがどの場所に何個の卵を産んで、何匹の子ガメが海へ帰っていったのか、資料として残している。

7月31日(水)、18名の小中学生と大人18名、スタッフ10名がアカウミガメの足跡調査に参加した。子どもを対象とした足跡探しツアーは、今回で4回目。早朝5時の集合に、子どもたちは探検気分で胸を躍らせていた。集合場所に展示されている写真を見て、ウミガメの足跡がブルドーザーの通った後のようだと初めて知り、驚いている親子もいた。『一宮ウミガメを見守る会』会長の渡部明美（わたべあけみ）さんが説明を始める。「地元中学生の8年間の自由研究の結果から、一宮町の海岸では新月の夜に上陸が多い事が分かりました。8月1日が新月なので、夜中月明かりのない今日を選んで、みなさんに来てもらいました。今年は現在まで上陸3回、産卵3ケ所と数が少ないです。大自然が相手なので、今日足跡が見られるかどうかは行ってみてのお楽しみです」。砂浜に出ると、海はサーファーとすぐ近くに見える漁船ですでににぎやか。昇ったばかりの朝日がさす中、一宮川河口と太東海岸を結ぶ約7kmの砂浜のうち、2kmを歩いた。

ほどなく7月27日の産卵場所に到着。「母ガメは海から歩いてきて、短い後ろ足で約60cmの深い穴を掘り、1回平均100～120個のピンポン玉そっくりの卵を産みます。産卵から約2カ月で卵が孵化して、子ガメたちが海に戻っていきます」との渡部さんの話を聞き、卵の数の多さに子どもたちは驚きの声を上げた。しかし実際に大人になれるのは、5千匹に1匹といわれている。参加者全員が囲いの周りに集まって、砂の下に育まれているたくさんの命の無事を祈り、子どもたちがウミガメの巣の保護を訴える立札を立てた。

産卵場所に立てた看板

その後目標の突堤まで歩いたが、この日は母ガメの足跡は見つからなかった。砂浜に注目して歩くと、ミユビシギやカモメのような鳥や、ニホンイタチやウサギなど、他の動物の足跡が見られた。白子町立白子中学校1年の長島壮大（ながしまそうた）さんは、「ウミガメの足跡を見られなかったのは残念でしたが、いろいろな足跡があって面白かったです。夏休みの科学論文で動物の足跡について書こうと思っているので、もっと本やインターネットで調べるつもりです」と話した。千葉市から参加したあすみが丘小学校3年の田辺桂大（たなべけいた）さんは、「早起きしてお腹がすいたけど、楽しかったです。学校で俳句の宿題が出ているので、今日のことを詠みたいです」と、疲れも見せずに波打ち際で遊んでいた。

産卵の終えた母ガメ。砂を深く掘るため全身が砂まみれになる

考えよう！私たちに出来ること

渡部さんは最後に、「手のひらに乗るほどの小さな子ガメは、砂から出て海へ向かう時、車のタイヤ痕があるだけで前へ進めなくなってしまいます。みなさんもウミガメや他の生きもののことを考えて、海辺で遊んだ後は砂山や掘った穴を元の状態に戻して、ゴミなどもきちんと持ち帰ってほしいです」と、1人1人の小さな心がけの大切さを伝えた。「今日は残念ながら足跡が見られませんでしたが、毎朝私たちが歩いているので、夏休み中いつでもまた来てください。10月以降、子ガメが巣立った後の巣の発掘調査もあります。興味のある人はご一緒しましょう」

『一宮ウミガメを見守る会』では、フェイスブックに日頃の活動・ウミガメに出会った時の対処法などを掲載している。随時調査仲間を募集中。詳細は問い合わせを。（石井）

㈱一宮ウミガメを見守る会　渡部さん
☎090・1807・7139
メール kameakemi777@yahoo.co.jp

フェイスブックへはこちらから!

身近なものでお洒落に包む エコ・ラッピングの楽しさ伝えたい

包装作家® 正林（しょうばやし）恵理子さん

ノスタルジックな作業机に、ごく普通の封筒と輸入菓子の空き箱が置かれた。折ったり、切ったり、貼ったり…。このあと、どう変わるんだろう？とワクワクしながら撮影していると、わずかな時間で、お洒落な外国製のマッチのような包みに変わった。単色の細いマスキングテープが『側薬』（マッチを擦る部分）のようで面白い。机の脇には、包みを解くのがもったいないような、でも開けてみたくなるような、ハイセンスで可愛らしいラッピング作品の数々。よく見ると食品のパッケージやキッチンペーパーの芯、普通の紙皿や紙コップが使われていて、楽しいアイデアに脱帽する。NHKの番組や雑誌などにも取り上げられ、イベント講師としても活躍、複数の著書もある国分寺台在住の包装作家®、正林恵理子さん(44)の作品だ。

「4歳の時、市原市に引っ越してきました。子どもの頃からハサミとノリを使って工作をするのが大好きで、よく封筒を作っていました」と振り返る。小学校では料理クラブ、中学校ではソフトボール部に在籍。高校では、ファーストフード、本屋、薬局、ガソリンスタンド、コンビニ…と、様々なアルバイトを経験した。「洋服や雑貨が好きだったので、高校を卒業したらスタイリストになりたかったのですが、両親のすすめで看護学校へ進学しました。実習が辛くて泣いたこともありました。看護師として3年間頑張って勤務したのですが、やはり自分には向いていないと思って辞めて、イギリスに留学しました」とのこと。ロンドンでの2年間で英語、料理、製菓を学び、帰国した後は母の助産院を手伝いたいと思い助産師学校を受験し、卒業後助産師として働いた。

その一方、留学中に学んだ菓子づくりをもっと極めたいと、今度はビザ申請の年齢制限も迫る中、31歳で単身フランスへ渡る。パリの製菓学校と製菓店で修行を積み帰国。助産師として働きながら、月に1度、自宅でカフェを開くようになる。「友人を招いて趣味で開いていました。自作の焼き菓子を包むのにコスト軽減を考えていた時、パリのお店で見かけた、さりげないけど素敵なラッピングのことを思い出し、身近にあるものを使って、お金をかけずに可愛く包むラッピングを考えるようになりました」と話す。

さらに、カフェの関係者がある出版社に、正林さんの焼き菓子を手土産に持っていった時、ラッピングが編集者の目にとまり、やがてエコ・ラッピングの著書を出版することに。優しく穏やかに話す正林さんだが、単身異国へ渡る度胸、夢を追う情熱、人柄、チャンスを逃さない努力等が相乗して、これをきっかけに包装作家®の活動を本格的に始めることとなる。

日常にたくさんある『素敵』

正林さんのラッピングの特長を尋ねると「どこの家にもある素材を使って、普段の見慣れた形から少し姿を変えることで、イメージを新鮮な印象に変えて可愛らしく見せています。アイデアのヒントは、パリで暮らしていた時に見た何気ない日常の包みを思い出したり、日本の可愛い雑貨屋さん、デパ地下で見かけた和洋菓子店の包みなど、いろいろな所から得ています」パッと閃く時もあれば、にらめっこのように素材を長時間ずっと見つめることもあるという。「素材の形や材質、良いところや特徴を自分なりに捉えて、それをどうやって活かしたら可愛くなるのかなって考えています」と言葉を続ける。まだ中身を見ていないのに、包みを渡しただけで喜ばれたり、開けても包み直して飾ってくれたり、ラッピングが再利用されたり、包みが可愛いから解きたくないって言われたり…そんな瞬間が、とても嬉しいと微笑む。小学校低学年の娘さんも一緒にラッピングを楽しんでいるそうだ。

「何かに使えるかも…と、いつもとちがう視点で身近なものを見てみると、意外な活用法だったり、利用価値など新しい発見があります。自分の身の周りのものに興味を持って、手間をかけて綺麗にしたり、可愛くしたりしていくと毎日が楽しく、生活に豊かさを感じるようになると思います」と語る正林さん。今後の抱負は、エコ・ラッピングをたくさんの方々に知ってもらいたい、楽しさを体験してほしいとの思いから、市原市にある大好きな美術館『市原湖畔美術館』で作品展とワークショップをやりたいとのこと。（山﨑）

㈬正林さん フェイスブック https://www.facebook.com/エコラッピング-1388066231457377/ インスタグラム https://www.instagram.com/e_shobayashi/?hl=ja

（写真①〜③）取材時に、その場で作ってくれたもの。変哲のない封筒があっという間にオシャレに生まれ変わる。

みんな だれでも あそびにおいで!! 子ども食堂 すまいるステーション

茂原市東郷福祉センターで毎月第3日曜日に開催されている子ども食堂『すまいるステーション』（代表河野健市さん）。茂原市内で初の子ども食堂として、2018年3月のオープンから2度目の秋を迎えた。この1年半でスタッフの役割分担も定着、「寄付の保温鍋のおかげで、料理を簡単に温かいまま出せるようになりました」とスタッフは喜ぶ。「地域から、米や野菜の差し入れには恵まれています」と感謝するのは、事務局長の丸岡一人さん。食材の仕入れには、加えてフードバンクを利用し、肉や卵、調味料は参加費などを充てて購入。場所の提供も含めて、茂原市社会福祉協議会には様々な形で支援を受けている。

訪れたこの日のメニューは、ポークカレー・かき玉スープ・丸々野菜のグリル焼き・きゅうりの塩もみ・りんごとさつまいものケーキと、デザートまでつく充実ぶり。例えば『丸々野菜のグリル焼き』は、紫玉葱、ズッキーニ、人参、ジャガイモ、サツマイモにオリーブオイルをかけてオーブンで1時間。「レトルトの調味料では味が濃くて、外食の味と変わらない。素材の味を大切にしています」と調理スタッフは、お腹を満たすだけでなく、調理法にも気を配る。衛生面にも細心の注意を払い、作り置きはせず、当日揃った材料からメニューを決め、午前中の約2時間で手早く作る。「ママさんたちの調理の負担は大変なものです。いかに簡単に美味しく調理できるか、ヒントになるようなメニューを心がけています」と、母親の家事負担に寄り添うような料理の提案をしていきたいと語るのは、副代表の牧由美さん。「有難いことに1度に使いきれない程の食材をいただいて、来る方にお配りすることもありますが、地域に子ども食堂が増えればフードシェアという形で食材を回すこともできる」と子ども食堂の輪が広がることを期待する。

『子ども食堂』といっても、子どものためだけの場所ではなく、食事をするためだけの場所でもない。子どもたちには学習支援の場であり、折り紙や紙飛行機で遊んだり、リトミック体験もできる。大人同士で訪れて井戸端会議に花を咲かせてもいい。子どもの貧困、独居世帯の増加、地域コミュニティの崩壊と社会問題は広く根深いが、身近な人の足元から照らしていきたいという熱い思いを、この子ども食堂に関わっている多くの人が分かち合う。『すまいるステーション』は、世代を超えた多くの人の居場所となるよう、参加者をいつも温かく迎えている。開催時間は12時から15時。参加費は3歳まで無料、中学生までが100円、高校生以上が300円。食事は50食限定で、13時半最終受付。サポーター、ボランティアを随時募集中。（石井）

（問）丸岡さん ☎090・9133・6738

地元農家から提供の野菜

折り紙指導・高田隆悦さん作

行広告

有料 1行2,400円（税別）お申込はお早めに
☎0436-21-9311 FAX0436-21-9142

※掲載情報をご利用の際は、売買契約等、当事者間でよくお話し合いの上ご契約ください。取引について当社は一切責任を負えません

申し込み方法

◆専用申込書をＦＡＸまたは郵送でお送りします。
◆申込書に所定の内容を記入後、ご返送ください。追って掲載料金等を記載した受注書を発行します。
◆掲載料は前払いなので、受注書を確認されたらお振込ください。掲載紙面は１部ご郵送します。

買います

●**きもの専門（今昔）野口染工場** ☎0470-83-0136
●**ピアノ** 漆田 0120-00-4210
●**金プラチナ商品券** 相場・額面の90～98％で てんとう虫 ☎0475-72-9400 大網店 休み不定 0476-36-4388 富里店 043-310-5825 都賀店

生徒募集

●**着付教室** 毎㈰10時～11時・13時～14時 1回500円 浴衣から二重太鼓まで 詳しくはお問合せ下さい きもの館まるへい 茂原店 ☎0475-25-2617 担当：小谷部 岬本店 ☎0470-87-2707担当：飯野
●**全日制フリースクール** 中学不登校生のための学びの場です 成美学園中等部 ☎0475-44-5777

求人

●**パート美容師募集** 週1日から ＯＫ ラセーヌ牛久店 ☎0436-50-0822
●**スタッフ募集** ランチスタッフ900円～ ディナースタッフ1,000円～ 詳細はお気軽にお問合せください フランス割烹・和牛ステーキ 茂原竹田屋 ☎0475-27-2013 月曜休み

営業案内

●**ピアノのレンタル** シツデン 0120-00-4210

お知らせ

●**教育相談** ニート・不登校・学力不足・ひきこもり 初回無料 要予約 成美学園 ☎0475-44-5777
●**新倉瞳＆佐藤卓史 デュオリサイタル** 10／27㈰14時開演 千葉県文化会館 3,500円・学生2,500円 深く美しいチェロの音色と卓越した表現力のピアノ サンサーンス・白鳥、ドビュッシー・チェロソナタ、ウェーベルン・3つの小品ほか チケット：文化会館 ☎043-222-0201 託児サービス：0～1歳3,000円、2歳以上2,000円・要予約・マザーズ ☎0120-788-222
●**ゲッターズ飯田 開運トークライブ** 10／27㈰ 11時と14時・2回公演 君津市民文化ホール 前売2,000円、当日2,500円 開運のヒントが盛りだくさんの幸せを呼ぶトークショー 抽選で直接占ってもらえるチャンスあり ☎0439-55-3300

らいふ通信

掲載無料 詳しくはお問い合わせ下さい
☎0436-21-9311 FAX0436-21-9142

※掲載情報をご利用の際は、内容を当事者間でよくお話し合いの上ご利用ください。当社は一切責任を負えません

申し込み方法

※個人情報や呼びかけなどにご利用ください。
※お申込み 内容を箇条書きにして、住所、氏名、電話番号を明記し、ＦＡＸか郵送、メールで
FAX0436-21-9142 メール kiji@cl-shop.com

ペット情報

●**犬差し上げます** 8／28生 秋田犬・虎柄 オス3・メス2 山武市・渡辺 ☎090-9301-9333
●**犬差し上げます** 昨年11／10生 ビーグルと雑種のミックス オス1 山武市・渡辺 ☎080-6754-3467
●**子猫差し上げます** 生後2カ月位 茶トラ・オス 短い尻尾 家族に迎えて大切にしてくれる方に 大網白里・ねな ☎090-7741-0009
●**子猫保護しました** 生後3～4カ月位 ミルクティー色・薄く縞模様 オスと思われる 9／12頃～ 元気、食欲あり 茂原・沼田 ☎090-8497-2786

イベント

●**第46回写真展** 10／1㈫～6㈰ 10～18時 茂原ショッピングプラザ・アスモ 全日本写真連盟茂原支部の写真展 新入会員募集中 山崎 ☎090-1504-4406
●**お茶を楽しむ焼き物展** 10／1㈫～25㈮ 11～17時 cafeNigo ギャラリー（いすみ市大野） 千葉市緑区あすみが丘で作陶する福島みどりの作品展 お茶と和菓子を楽しむ為の焼き物 ☎0470-80-5525
●**第15回子どもあそびひろば** 10／5㈯6㈰ 10～15時 茂原榎町商店街・駅前通り商店街と駐車場 昔あそび、ネイチャークラフト、ゲーム、工作あそび、スタンプラリーなど 15回記念・スリッパとばし大会：5日11～13時に実施、対象は小学生、要事前申込 ナルク茂原・いちごの会 ☎0475-26-5229
●**講演会「障がい者の方たちとスポーツを！パラスポーツ茂原の活動について」** 10／6㈰13時半～ 茂原市役所市民室 定員100名 入場無料 主催：青少年育成茂原市民会議 要申込・問合せ 茂原市教育委員会生涯学習課 ☎0475-20-1559 FAX.0475-20-1607
●**三國節子 籐展・籐あそび** 10／6㈰～27㈰ 10～17時、最終日15時 ギャラリー801（睦沢町） ㈫㈬定休 入場無料 バッグやカゴ、壁飾りなど 軽くて楽しいアクセサリーもあり ☎0475-40-3035
●**藻原寺フリーマーケット** 10／12・26㈯ 9～13時 雨天中止 茂原市役所近く 車ごと出店：1,500円 初めて出店申込の方は開催日に下見の上、本部受付まで ☎090-4950-6193
●**チャリティー映画会・一宮学園で映画を観よう！「カレーライスを一から作る」** 10／12㈯ 9時半～11時半、12時半～14時半の2回上映 2回目の上映後にトークの会あり 児童養護施設一宮学園 無料 野菜や米、肉、スパイスなどの材料をすべて一から育てる計画に、探検家の関野吉晴さんと学生たちが取り組む9か月の記録が感動的な映画 赤ちゃんルームもあり 荒木 ☎080-6535-0977
●**特典付月例ダンスパーティ** 10／12㈯17時～ 高貫ダンススクール（いすみ市岬町） 参加費：1,000円、軽飲食付 サークルたんぽぽ：基本重視のステップとトレーニング・月3回㈯・13～14時・月会費1,500円・初心・初級・中高年大歓迎 ☎090-4208-1210
●**豊田コスモス祭り** 10／13㈰ 10時～ 八田堰周辺（茂原市・ムーンレイクゴルフ場側） コスモス摘取りＯＫ 矢部 ☎0475-24-7231
●**歴史セミナー・江戸時代の葬送儀礼と檀家制度** 10／16㈬ 13時半～15時半 茂原市立郷土資料館 仏教（寺院）による葬儀が義務づけられた江戸期の葬送儀礼 房総地方だけに見られる行事等も取り上げる 一般30名 参加無料 電話で9／30・17時までに申込み ☎0475-26-2131
●**進路選択サポートセミナー・不登校からの道** 10／18㈮ 13時半～16時半 参加無料 茂原市中央公民館 不登校からの進路選択に関するガイダンス、県立千葉大宮高校（定時制）、県立生浜高校（三部定時制）、県立長生高校（定時制）、県立東金高校（定時制）による学校説明 個別相談ブースを設置し、より具体的な進路選択を共に考える 電話かホームページで要申込 10／16〆切 ☎043-207-6028（平日）

●**親子で染物職人体験！ 玉ねぎエコバッグ染め** 10／19㈯ 10～12時 ピア宮敷第1工房（いすみ市岬町桑田） 参加費：1,500円（講習費、材料費、ドリンク込） 玉ねぎの皮を煮詰めて天然の染料を使用しエコバッグを染めてみよう！ビー玉や輪ゴムを使って模様を作る 親子で参加の場合はエコバックを1枚ずつ作る 大人1名での参加ＯＫ 空いた時間でスライム作りもあり ☎0470-87-5202
●**月例ダンスパーティ** 10／20㈰ 13～15時半 リオベルデ（茂原市） 1,000円 ☎0475-26-6567
●**千葉県ウォークラリー大会茂原会場** 11／10㈰ 9時半スタート 茂原市緑丘小グラウンドをスタートとする3コース 参加費：1人500円（保険料込み）、3歳以下と80歳以上は無料 500名募集 所定の用紙にて申込 10／15〆切 斎藤 ☎090-1794-8318

リサイクル

●**不要毛布お願いします** これから来る寒さを乗り切る犬たちに、不要になった毛布や敷き毛布（綿のないもの）など、ございましたらご連絡ください 茂原近辺で伺います 鈴木 ☎090-2643-9667

私のひとり言 相川浩

…ゴルフを思う…

「スマイルシンデレラ」渋野日向子選手が、42年ぶりに日本人メジャー優勝を遂げた全英オープン。パッと明るく爽やかなプレースタイルは多くの人に注目され続けることだろう。

以前、私が作成した「いちはらの郷土かるた」には、『変化あるゴルフの銀座日本一』という句がある。市原には、自然を活かした特徴的なゴルフコースが多く、それぞれ変化を持たせファンを魅了している。私のゴルフとの出合いは中学時代（1961年頃）。近くにゴルフ場ができ、キャディ不足との事から仲間と何度かバッグを担いだ。当時ゴルフは夢と思っていたが、会社に入るとゴルフの話題も多くなり職場のゴルフコンペも盛大になる。当時はテニスをしていたこともあり興味は薄かったが、仲間に加わろうと30代中頃に本の購入などから始めた。

その後、造成工事中のゴルフ場に二人の子供を連れて見に行った。大型重機が動き回るパワーを初めて間近にした思いから、このゴルフ場の会員となり（愛称「三喜会」、自然を愛しプレー出来る喜び・健康である喜び・快適な会話を交わす喜び）、30年近く多くの仲間と楽しむことが出来た。

また仕事でモロッコへの出張中、ゴルフの原点とも言える体験をした。INの10番ティーグランドに自分のボールを置き待ち、順番が来たのでグランドに上がったら、キャディから「OUTからの人が来られました」と声を掛けられ、その人が先に打つことになった。プレーした年配のフランス人ご夫婦は軽く会釈し、セルフカートを引きながら朝のウオーキングの様に通り過ぎて、非常に爽やかな印象だった。ゴルフは緑の中、老若男女健康の喜びと長く付き合える素晴らしい魅力あるスポーツであり、今でも楽しんでいる。

・相川浩：市原市出身。三井造船で定年まで勤め、退職直後の平成20年、自宅敷地にギャラリー・和更堂を設立。多くの郷土の芸術家と交流する。「更級日記千年紀の会」事務局担当。

絵：相川浩「いちはらの郷土かるた」「へ／変化あるゴルフの銀座日本一」の一部

里山と田園風景が広がる睦沢に新しい道の駅

道の駅むつざわ つどいの郷 10月1日㈫ グランドオープン

正式名称は「むつざわ スマートウェルネスタウン・道の駅・つどいの郷」。睦沢町上之郷の交差点そばにグランドオープンする。睦沢町にはすでに「道の駅 つどいの郷むつざわ」が17年間営業していたが、今年8月25日をもって閉店。新しい道の駅が9月1日からソフトオープンとして営業している。テーマはウェルネスと地産地消。お買い物から癒しの施設など、規模も施設もさらに充実。どんな施設か紹介していこう。

●つどいの市場

道の駅には必須の農産物や加工品の直売所。睦沢産の新鮮野菜を中心に、お米や花も取り扱い。広々としており、品ぞろえはもちろん、手に取りやすい陳列棚がうれしい。☎0475・36・7405

●むつざわ温泉つどいの湯

地層の隙間にある、よう素を豊富に含む「かん水」という化石海水を汲み上げた天然温泉。地場産の天然ガスで温めている。露天風呂や源泉かけ流しの内湯、サウナを完備。お食事スペースもあり。㊔10時~21時 料金：大人500円（町外700円）、小中学生200円（町外300円）、障がい者の方は200円、未就学児は無料。☎0475・36・7407

●トラットリア・ドゥーエ

日本橋で人気イタリアンのオーナーシェフとして活躍していた福山シェフが、地域の食材を生かしたイタリア料理を監修。地元野菜を使用した石窯ピザやパスタ、スイーツを提供する。㊔11時~21時 ランチ11時~14時 LO 20時半 ☎0475・36・7406

●オリーブの森

メインの建物の道路を挟んだ反対側にある。広々としたドッグランやBBQ（予約制）、サイクルステーションなど、屋外でのお楽しみならこちら。レンタサイクルは、本格的なロードバイクからクロスバイク、マウンテンバイクなど充実。㊔9時~17時

その他にも、レンタルルームとして使用できる「つどいのハコ」や芝生広場。情報を提供する休憩コーナーには絵本やマンガも置いてあり、子供たちも楽しめる。

さらに特長的なのは、この道の駅、地場産の天然ガスを使用したガス発電設備により発電しており、災害時にも電力供給を続けることができること。記憶に新しい今月9日の台風15号の際も2日間にわたり地域の方々へ温水シャワーを提供した。駅長の話では1日に500人以上の利用があったといい、すでに災害時の拠点として貢献しているようだ。

10月1日のグランドオープン時にはさまざまなイベントを企画予定。詳細はホームページまたは道の駅むつざわ つどいの郷に。お買い物はもちろん、心と体のリフレッシュに、ぜひお出かけしてみては。

道の駅むつざわ つどいの郷
長生郡睦沢町森2ー1
☎0475・36・7400
https://mutsuzawa-swt.jp/

人気の直売所。お買い物メインなら早目に来店がおすすめ

入口を入ると目の前にカフェ。左奥が温泉の受付となっている

レストランへ続く休憩コーナー。カフェのコーヒーでリラックス

上総国一ノ宮 玉前神社提供

読者投稿 お好きに川柳〈第187回〉

◆お題「天気」

一席

天気雨きつねの嫁入り語る祖母
長生村 齋藤裕美

●お天気は日傘クリーム忙しい
一宮町 伊丹明美

●婆ちゃんの膝が天気を予報する
大網白里市 安延春彦

●遊びすぎ母の気分は悪天候
茂原市 こま

●傘持参帰り手ぶらの空模様
茂原市 道譯賢一

●妻が言ういつも貴方はノー天気
大網白里市 三日市皓

●一日は天気次第の老夫婦
大網白里市 渡辺光恵

【賞品】
一席の方には、玉前神社様より2千円分の図書カードをプレゼント

【応募方法】
ハガキかFAX、メールで、〒番号、住所、氏名（希望の方はペンネームも）、年齢、電話番号を明記の上、〒290-0056 市原市五井4874-1 シティライフ「川柳」係。
10/8㈫〆切 ※一枚のハガキ、FAXに何句書いていただいても結構です。皆様の応募待っております。
fax.0436-21-9142 kiji@cl-shop.com

次回・お題は「着く」です

ご祈寿
毎日9時~16時の間
いつでもお受けしています
〈玉前神社〉
TEL.0475-42-2711